令和６年度第３回仙台市宮城野区区民協働まちづくり事業 評価委員会
令和７年度まちづくり活動助成事業計画説明会 議事要旨

日　時：令和７年３月５日(水) 午後６時 30 分～７時 00 分
場　所：宮城野区中央市民センター３階　第３会議室
出席者：大西委員長、有坂副委員長、安部委員、葛西委員、眞野委員
　　まちづくり推進課

１　開会

※委員長挨拶・評価委員の紹介・概要説明は省略。

２　事業計画説明及び質疑応答

（１） 事業名：おやこの育ちあい事業～地域パートナーとの協働を通して～
　　団体名：KOSODATE 応援会【3 年目】

＜質疑・意見＞

委　員　事業計画を見ると２年目に行っていた子育てサロン「ぱーしもんベイビー」やポジ会の事業計画が無くなっている。3 年目にしてそれらの事業を縮小し、動画制作費 25 万円が入っている理由を教えて欲しい。また、映像を利用する具体イメージを教えて欲しい。

説明者　今後地域の方々にポジティブ・ディシプリン®の考え方やプログラムを理解してもらうための動画作成を考えている。一部の人達に DVD を配布し、「叩かない・怒らない」子育てについての考え方をお伝えしたいと考えている。

委　員　今回の映像の使用方法だと、長期間利用するための教育コンテンツと考えられ、経理上は資産計上される可能性が高い。また、この 3 年間の活動の内容では、ポジティブ・ディシプリン®のプログラムを受講した人々が KOSODATE 応援会さんを支援する仲間になっておらず、活動に広がりが見えていない。この助成事業以外に子育てサロン等を行っているのであれば教えて欲しい。

説明者　子育てサロンやポジ会の活動は、来年度も継続していく予定だが、対象が仙台市内に広がってきており、今回の助成の事業計画としては記載していない。

＜協議結果＞

助成事業として採択する。

（２） 事業名：宮城野区に市民の手で仙台門松を建てよう
　　団体名：仙台門松・みやぎの発信隊

＜質疑・意見＞

委　員　SNS の効果が非常にあったとのことだが、ワークショップに参加した人数など具体的な数字を教えて欲しい。また、仙台門松の活動に賛同し、賛助会員になった人数等を教えて欲しい。

説明者　ワークショップ等のイベントに参加した 200 名のうち、約半数が SNS 経由の申し込みである。ただし、イベントによって差がある。ミニ門松づくりのワークショップは参加者 13 人のうち SNS からの申込が 8 名あった。また、SNS 経由の申し込みのうち 3 名が賛助会員になった。

委　員　今年度の企画会議の郵送費（会員への資料発送や協力者への礼状）については、会費や応援隊の寄付の収入が見込まれているため、助成金ではなく、会費や寄付を自己資金として充当すべきだと考える。また、ミニ門松のセットの経費については、講師用と広報展示用4セットの分は助成対象経費とするが、参加者分の経費は、参加者から相応の材料費等を徴収して自己資金を充てることが妥当だと思われる。

委　員　「宮城野区に市民の手で仙台門松を建てよう」という事業名になっているが、主な活動地区が田子地区となっている。今後、田子地区以外の宮城野区内に活動を広げる予定はあるか？

説明者　当面は、江戸時代の旧田子村である鶴巻中学校区、高砂中学校区、田子中学校区に仙台門松を建てることを目標としている。

委　員　団体企業協賛金を8社からもらっているが、それぞれの内訳を教えて欲しい。仙台門松については、大きな地元企業が建てているが、そのような企業との連携はあるのか？

説明者　団体企業協賛金は、地元の企業から3,000円いただいている。仙台門松を建てている企業としては「鶴巻とみさい館」との連携をしている。

＜協議結果＞

助成事業として採択する。

3　閉会